

株式会社 ファミリーマート 御中

タイ王国  
安心・安全な学校作りのための子ども参加型防災学習

第2四半期報告書(2015年8月～10月)



2015年11月  
公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

## 1. 事業概要

事業名	安心・安全な学校作りのための子ども参加型防災学習
対象国・地域	タイ王国 5地域(北部、東北部、中部、東部、南部)の小学校 50校
事業期間	2015年5月1日～2016年4月30日
報告期間	2015年8月1日～2015年10月31日
予算	10,000,000円
受益者	直接裨益者：生徒250人、教員研修パイロット校の教員50名 間接裨益者(予定)：生徒10,000人(200名×50校)、 教師(対象校50校の校長)50名
事業目的	安心・安全な学校作りの枠組みにおける教員の防災能力強化と子ども主体の防災学習の促進を目指す。

## 2. 活動進捗

教師向けの活動では、教員研修パッケージの作成を通じて教師が「安心・安全な学校作りの枠組み<sup>1</sup>」を実践するための能力を強化することを目指しています。9月にセーブ・ザ・チルドレンとユニセフの間でプログラム調整協定が正式に結ばれた後、10月から11月にかけて当2団体により、タイ教育省基礎教育委員会部局に対して事業にかかる説明と協力依頼のための協議をしました。1月には学校カリキュラム作成専門家と防災コーディネーターによる、パイロット校での生徒と教員に対するフォーカスグループディスカッションを実施する予定です。

また、子ども向けの活動として、参加型の防災学習を進めています。教育における様々な危険からのリスクを削減するための国際的なアプローチである「安心・安全な学校作りのための枠組み」には下記の3つの柱があります。

1. 安全な学習設備の構築
2. 学校における災害管理
3. リスク削減・レジリエンス(災害に対する強靭性を高める)教育

本活動で実施される子どもたちを対象とした活動である、1) 防災エッセイコンテスト<sup>2</sup>、2) 防災ワークショップ<sup>3</sup>、3) 防災アイデア展示会、の開催は、上記の柱の3本目にあたる、「③リスク削減・レジリエンス(災害に対する強靭性を高める)教育」を推進するための重要な活動と位置付けられています。今四半期は下記の活動を展開しました。

### ① 防災エッセイコンテスト

セーブ・ザ・チルドレンは「アセアン防災・緊急対応協定」のメンバーとして、10月13日のアセアン防災デーに参加することに同意しており、本イベントにおいて防災エッセイコンテストを主催する計画となっていました。しかし、生徒たちからの応募数が十分な数に達しなかったことから予定を変更し、2016年1月9日のタイの「子どもの日」に合わせ、コンテストを再設定する予定となりました。

<sup>1</sup> 教育における様々な危険からのリスクを削減するための国際的なアプローチ

<sup>2</sup> 防災エッセイコンテストは、小学4年生～6年生の部、中学1年生～3年生の部に分かれて行われます。

<sup>3</sup> 防災ワークショップは、中学1年～3年生の生徒約80名が防災についてより深く学び、緊急対応スキルを身に付けるためのプログラムです。

## ② 防災ワークショップ

10月17～19日にバンコクのマリオットホテルからも協力を経て開催されました。当日はタイの洪水被害の多い4つの県の「安心・安全な学校ネットワーク」のメンバー校より、合計62名の生徒と12名の教師、そしてタイ赤十字、他国際NGO、アジア防災センター<sup>4</sup>等の上記ネットワークの関係者が参加しました。合計7つの講義と14つのステーションにおける活動<sup>5</sup>が展開され、子どもたちの災害リスク削減に関する知識や救命処置・安全確保に関する知識を向上させました。参加した教師たちは、当キャンプ後にも各自の県で更に防災啓発教育を実施していく計画を立てています。

表1: 講義科目一覧

1. 災害、リスク、災害に対する脆弱さ、災害に対する対応能力に関する用語講座
2. 他者との共生と、他者の声に耳を傾けることについて
3. 視覚的思考方法について
4. 日本の津波、タイの洪水～災害からの教訓
5. 災害時の衛生問題
6. 革新的なアイデアの試作デザインと使用テスト
7. 人生における成功のための方法

表2: 活動ステーションの内容一覧

1. 津波について
2. 地震について
3. 爆発災害について
4. 水への漏電モデル
5. 良きリーダーとなるには
6. 災害時になすべきこと&すべきでないこと
7. 応急処置の方法
8. CPR(心肺停止の蘇生救急)
9. ヘルメットと交通安全
10. 緊急時に身の回りで役に立つもの
11. 消火器の使い方
12. 災害犠牲者の搬送方法
13. 防災バックの準備について
14. 災害時どのように身を守るか

当活動はタイのメディアにも取り上げられ、当日の様子は11月2日に放送された「災害に対抗するための知識」というTV番組の一部で紹介されました。放送された内容は、世界で起きている災害とその影響について視聴者の知識を高め、意識を向上させるというものでした。

[https://www.youtube.com/watch?v=xkcnN\\_UAVHI](https://www.youtube.com/watch?v=xkcnN_UAVHI)<sup>6</sup>

## ③ 防災アイデア展示会

バンコク芸術文化センター(BACC)と2016年1月の開催に向けて協議を開始しており、センターも関心を寄せています。

<sup>4</sup> アジア・太平洋地域の政府に対して防災面の技術的なアドバイスをする国際NGO

<sup>5</sup> 子どもたちはグループになり、全ての活動ステーションを回りながら各防災テーマについて学びます。

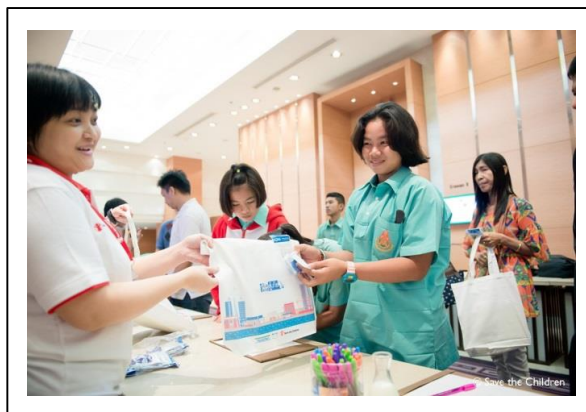
<sup>6</sup> 下記は当番組のYoutube映像で、防災キャンプの様子は画面下の時間メモリの18.15分あたりから放送されています。

3. 今後の活動予定（★はファミリーマート社員様の参加が可能な活動です。）

活動内容	2015年		2016年			
	11月	12月	1月	2月	3月	4月
1. 安心・安全な学校作りのための教員研修パッケージの作成						
1-1. 教材開発・普及のための協議 (安全な学校ネットワーク関係者、アセ アン防災・緊急対応協定関係者、教育 省関係者)		✓		✓		✓
1-2. 対象5地域での「安心・安全な学校作り」 教員研修パッケージの作成	✓	✓	✓	✓	✓	✓
1-3. 学校カリキュラム作成専門家と防災コ ーディネーターによる、パイロット校での 生徒と教員に対するフォーカスグループ ディスカッション (★交渉中)		✓	★ ✓			
2. 安心・安全な学校作りのための枠組みをサポートする子ども参加型の防災学習						
2-1. 防災エッセイコンテスト  (★1月9日開催予定)	✓	✓	★※ ✓			
2-3. 防災アイデア展示会  (★調整中)			✓	★ ✓		
3. 報告書、会計報告の作成					✓	✓

※ 10月に予定されていた防災エッセイコンテストは延期され、2016年1月9日タイの「子どもの日」に開催されることになりました。

#### 4. 写真報告



ファミリーマートのロゴは 10 月 17～19 日に開催された防災ワークショップで会場や関連グッズ（ワークショップ用バック、Tシャツ、修了証等）に表示され、参加した子どもたちと関係者に広く認知されました。



防災ワークショップの様子。爆発災害についての実験(左)と、地震の仕組みについて(右)学ぶ子どもたち。講師はモンクット王ラカバン技術研究所のスタッフたち。



防災ワークショップの様子。交通事故の負傷者の搬送と心肺停止の蘇生救急の実習を行いました。